

平成28年度

第8回大分県教育委員会 議事録

日 時 平成28年7月26日(火)

開会13時35分 閉会14時19分

場 所 教育委員室

平成28年度  
第8回大分県教育委員会

**【議 事】**

(1) 報 告

- ① 県内公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について
- ② ふるさと「しごと」フォーラムについて
- ③ 平成28年度高校生ものづくりコンテスト九州大会の結果について

(2) 協 議

- ① 津久見高校海洋科学学校の単独校化について

(3) その他

## 【内 容】

### 1 出席者

委 員	教育長	工 藤 利 明
	委員	林 浩 昭
	委員	岩 崎 哲 朗
	委員	松 田 順 子
	委員	首 藤 照 美
	委員	高 橋 幹 雄

欠席委員なし

事務局	教育次長	宮 迫 敏 郎
	教育次長	岩 武 茂 代
	参事監兼教育財務課長	森 崎 純 次
	教育改革・企画課総務企画監	河 野 雅 弘
	教育人事課長	藤 本 哲 弘
	福利課長	中 村 均 子
	義務教育課長	米 持 武 彦
	生徒指導推進室長	樋 口 哲 司
	特別支援教育課長	後 藤 みゆき
	高校教育課長	姫 野 秀 樹
	社会教育課長	曾根崎 靖
	人権・同和教育課長	甲 斐 順 治
	文化課長	佐 藤 晃 洋
	体育保健課長	井 上 倫 明
	屋内スポーツ施設建設推進室長	山 上 啓 輔
	教育改革・企画課主幹	伊 藤 功 二
	教育改革・企画課主査	石 丸 一 輝

### 2 傍聴人

7 名

## 開会・点呼

(工藤教育長)

それでは、委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

ただいまから平成28年度 第8回教育委員会会議を開きます。

## 署名委員指名

(工藤教育長)

本日の議事録の署名委員でございますが、岩崎委員にお願いしたいと思っております。

## 会期の決定

(工藤教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。

会議の終了は14時25分を予定しています。

よろしく申し上げます。

## 議 事

(工藤教育長)

それでは、議事に入ります。

## 【報 告】

- ①県内公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について

(工藤教育長)

はじめに、報告第1号「県内公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について」森崎参事監兼教育財務課長から報告いたします。

(森崎参事監兼教育財務課長)

報告の資料をご覧ください。毎年4月1日現在の公立学校施設の耐震改修状況調査を文部科学省が実施してしており、平成28年4月1日現在の全国の集計結果を本日の17時以降テレビ、ラジオで、新聞では明日の朝刊からマスコミ公表の解禁を予定しているものです。そのため、本資料には、全国平均など当県以外の情報は掲載しておりませんので、ご了解願います。

まず、資料1ページの「I. 校舎等の耐震化」についてですが、「県内の調査結果の概要」に記載しておりますとおり、県内小中学校の構造体の耐震化率は99.3%、高等学校が98.8%、幼稚園と特別支援学校が100%となっております、昨年よりも向上しています。資料の中段に「耐震性がない建築物の状況」を掲載していますが、小中学校で8棟、高等学校で5棟以外の学校施設の耐震化は完了いたしました。耐震化が完了しなかった理由を備考欄に掲載していますが、竹田市の城原小学校が耐震補強工事を繰り越したため完了できなかった以外は、全て統合に関わるものとなっております。県立学校分の耐震化率につきましては、資料の一番下の表に抜き書きをしたものを掲載しています。実質的には、平成23年度末で耐震化工事は100%終了しているところでしたが、再編に係る学校が残っていたことから、平成28年度でようやく完了ということになりました。

次に、2ページをご覧ください。「II. 非構造部材の耐震対策」についてです。これにつきましては、先の東日本大震災におきまして、屋内運動場、体育館、柔剣道場等の天井材や照明器具等が落下することにより被害が発生したということがあり、早急な対策が必要であるということで、平成23年度から追加して調査が始まったものです。

まず、中段にあります「1. 屋内運動場の吊り天井等の落下防止対策」についてです。屋内運動場や武道場等で高さが6mを超える天井、又は水平投影面積が200㎡を超える天井を有する施設の状況ですが、県内の小中学校では、撤去等の対策が必要な吊り天井を有する建物が昨年度は32棟ありましたが、市町村が対策を推進したことにより、平成28年4月1日現在で1棟だけとなっております。高等学校につきましても1棟ございます。それぞれの学校名や対策していない理由を表の上段「屋内運動場の吊り天井等の落下防止対策未実施校」のところに記載しています。

表の一番右端をご覧ください。照明器具やバスケットゴール等の落下防止対策についてですが、昨年度、小学校が334棟残っていたものが、

平成28年4月1日現在で118棟、高等学校が昨年度7棟残っていたものが5棟と、これも対策が進んでおります。今後も、残る学校の対策を速やかに実施するよう市町村に働きかけていきたいと考えています。

県立学校につきましては、一番下に抜き書きをした表を載せていますが、25年度、26年度2ヵ年をかけて集中的に対策を実施しましたので、再編で閉校予定の別府羽室台高校の建物を除き、26年度末に対策を完了したところです。

最後に3ページをご覧ください。「1以外の非構造部材の耐震点検・耐震対策」についてですが、耐震化率が小中学校では84.9%となり、昨年度から3.3%向上しています。幼稚園では昨年度から7.2%向上しています。こちらにつきましても、対策が出来ていない市町村に対して速やかに対策を実施するよう働きかけていきたいと考えています。

以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(林職務代理者)

統廃合で平成29年4月1日以降使用しない学校施設を除き、ほぼ耐震化が完了したということでしたが、それまでの間の安全対策、配慮はどうなっていますか。

(森崎参事監兼教育財務課長)

大分市の場合は、すでに耐震化が完了している校舎を使用したり、新たにプレハブを建てたりしています。また、別府商業高校については、耐震化が完了している別府青山高校の校舎を使用するなど、耐震化が終わっていない校舎を使用せずに済むようにそれぞれ工夫しています。

(林職務代理者)

生徒の安全対策は万全ということによろしいですか。

(森崎参事監兼教育財務課長)

はい、それぞれ工夫しています。

(岩崎委員)

耐震化がすでに完了した建物について、熊本地震の後に何か問題がなかったか、被害の検討などはしましたか。

(森崎参事監兼教育財務課長)

熊本県も含めて耐震化が完了した校舎については、倒壊等したところはありません。

(岩崎委員)

耐震化した建物については、今回のような地震が起きても相当程度安全性は保たれるということでしょうか。

(森崎参事監兼教育財務課長)

地震の後に小中学校を見て回りました。壁のクラックやエキスパンションと呼ばれる校舎の継ぎ目の歪みなどの影響はありましたが、大きな損壊は出ていません。

## ②ふるさと「しごと」フォーラムについて

(工藤教育長)

次に、報告第2号「ふるさと『しごと』フォーラムについて」姫野高校教育課長から報告いたします。

(姫野高校教育課長)

「ふるさと『しごと』フォーラムについて」説明いたします。

資料1ページをご覧ください。目的は、普通科高校2年生の大学等への進学希望者に、大分で働く職業人からの基調講演やシンポジウム、企業体験を通して、働くことの意義や大切さ及び企業が求める人材について理解させることです。このフォーラムを通じて、県内の企業に興味・関心を持つ生徒を増やしたいと考えています。

期日は平成28年8月1日(月)、ホルトホールをメイン会場にして実施いたします。「6. 日程」をご覧ください。9:30からの開会行事に続きまして、9:50から基調講演を「県内企業からのメッセージ～大分で働くことの魅力～」と題して、大分県経営者協会会長の幸重綱二氏に依頼しています。企業が求める人材、大分で働くことの魅力等について、お話しいただく予定です。

基調講演に続いて、「私が県内企業を選んだ理由について」という題目で、大分銀行、川澄化学工業、テレビ大分、柳井電機工業の4社の若手社員によるシンポジウムを実施します。

午後からの企業魅力体験は、生徒の希望に応じて受入企業を振り分けており、文学・社会学部、法学部、経済学部、理工学部、農学部など、10コース23会場で実施します。

資料3ページをご覧ください。午後の企業魅力体験のコースの一覧です。生徒の希望学部に応じて内容、受入企業を設定しました。受入企業につきましては、県商工労働部と連携して、TOS、大分合同新聞、大

分バス、大分銀行、トキハなど全部で23の企業を予定しています。企業以外では、獣医師の方からのお話が聞けるコースや公務員関係の大分県、県警、教育委員会のコースを設定しています。ホルトホールコース以外は、実際に企業に出向いてインターンシップを行います。社員の方からの会社説明や工場見学だけでなく、放送機器の操作体験やロールプレイ体験、鑑識体験等を行う予定としています。フォーラムの参加者は、生徒606名、保護者は16名となっています。

資料2ページをご覧ください。地方創生につなげていく「おおいた学生登録制度」の登録者を増やすだけでなく、個々の生徒に対しては、これからの深い学びの動機付けにしたいと考えています。

以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(林職務代理者)

7月中旬に開催された全国都道府県教育委員協議会での意見交換の際に、キャリア教育に関する各県の取組の報告がありました。中でも、東京都が独自に教科書を作っているようですので、参考にさせていただければと思います。また、同協議会における文部科学省による講演では、10年後の社会では、子どもたちの65%が大学卒業後、今は存在していない仕事に就くなど、現在の職業の多くは、今後なくなっていく可能性があるという話がありました。10年後は今とは全然違う社会になっているかもしれませんので、今回はベンチャー企業など新しい事業を行っている会社を入れてもよいのではないかと思います。

(松田委員)

受入企業の中の桜ヶ丘保育所と舞鶴幼稚園は公立ですか。

(姫野高校教育課長)

はい、そうです。

(松田委員)

今、全国的に保育士が不足しています。仕事に魅力はあるものの、給料が安いということもあるようですが、その魅力を説明していただけるといいと思います。また、幼稚園は私立の方が運営がうまくいっているように思いますし、全て公立だとインパクトが弱いような気がしますので、公立だけでなく私立も検討していただければと思います。



(姫野高校教育課長)

3年間続ける予定の事業ですので、今後の企業等の選択につきましては、委員のご意見も踏まえて検討してまいります。

(松田委員)

保育士になりたいと思っても、貧困により進学できない子どももいます。保育士が足りない幼稚園の中には、奨学金を出して大学と連携しながら採用しているところもありますので、そういった点も考えていただきたいと思います。

(高橋委員)

企業の割り振りはどのように決めたのでしょうか。

(姫野高校教育課長)

進路指導の教員の意見を参考にし、時間設定の関係からホルトホールに近い企業を中心に選定しています。

(高橋委員)

生徒の方から、行きたい企業の希望があったのでしょうか。

(姫野高校教育課長)

内容をあらかじめ生徒に提示して希望をとっています。次年度は、またやり方を工夫したいと思います。

(高橋委員)

生徒と企業をうまくマッチングしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

(工藤教育長)

この事業は県が取り組んでいる「まち・ひと・しごと創生」に深く関わっています。大分県はUターンが少ないので、県へ人を戻す方策の一つとして「おおいた学生登録制度」を設け、「カテテ！」の配信といった取組を始めました。これは、いずれ大学を出て就職をするときの一つの選択肢として県内企業を入れてもらおう、実際に見てもらおうというものです。これからも続けていきたいと考えています。

### ③平成28年度高校生ものづくりコンテスト九州大会の結果について

(工藤教育長)

次に、報告第3号「平成28年度高校生ものづくりコンテスト九州大

会の結果について」姫野高校教育課長から報告いたします。

(姫野高校教育課長)

平成28年7月9日、10日に鹿児島県で開催された高校生ものづくりコンテスト九州大会の結果を報告いたします。

前回の教育委員会会議において、県大会の結果を報告いたしましたが、各部門の最優秀校が県代表として九州大会に出場しました。出場校は、電子回路組立、木材加工、家具・工芸、自動車整備の各部門に鶴崎工業高校、化学分析部門に大分工業高校、旋盤作業と電気工事の各部門に日田林工高校、測量部門に佐伯豊南高校が出場し、電子回路組立と化学分析の2部門で最優秀賞を獲得しました。

資料3ページに、競技の内容を記載していますのでご覧ください。電子回路組立部門は、制御プログラムを作成することにより、目的の動作をするシステムを完成させ、プログラミング技術・組み立て技術や設計力を競う競技です。化学分析部門は、試料水中に含まれているカルシウムとマグネシウムの量から、その水の硬度を求め、測定結果の正確さや技術度等を競う競技です。

資料1ページをご覧ください。電子回路組立部門で鶴崎工業高校電気科3年生の宮崎恭寛君が、化学分析部門で大分工業高校の工業化学科2年生の兒玉ひかりさんが最優秀賞を獲得しました。

電子回路組立部門の競技において、実際に製作した入力回路とプログラムをお持ちしましたので、ご覧ください。競技時間2時間30分の間に、当日出題される課題に基づいて入力回路の設計・製作を行います。この時、抵抗やスイッチなどの電子部品を効率よく配置する回路設計技術やハンダ付けの技能が必要になります。次に、出力回路に設置されているスピーカーやモーターなどを、課題の条件に従って作動させるプログラムを作成します。課題は7問出題され、全問正解は本県生徒のみでした。作成時間は1時間30分程度、プログラムは約2,000行に及びます。

ものづくりコンテストをとおして生徒たちは、図面や回路図などを読み解く読解力、日頃の授業で身に付けた知識や技術・技能を活用する力、課題解決に必要な発想力など、将来ものづくり企業を担う人材として必要な力を身に付けていきます。

今回の九州大会で最優秀賞を受賞した生徒は、11月に北海道で開催される全国大会に出場します。電子回路組立部門については、全国大会3連覇がかかっており、化学分析部門では過去の最高順位が2位、初の全国制覇に意欲を燃やし練習に取り組んでいると聞いています。

以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(工藤教育長)

私も宮崎君の練習風景を見に行きましたが、丸く束になっている細い金属線をまっすぐに伸ばし、ハンダごてを使いながら素早く回路を作製する手際の良さは見事でした。宮崎君は昨年度2位、1位は同じ鶴崎工業高校の先輩でした。今年度は優勝を狙い、毎日数時間練習に取り組んでいるそうです。短い時間の中にプログラムを2,000行書いて、さらに電子回路も組み立てる技術というのは、プロに近いところがあるのではないのでしょうか。この大会は甲子園のようなもので、出場する生徒たちは一生懸命練習に励み、非常に高い技術を身に付けています。

## 【協 議】

### ①津久見高校海洋科学学校の単独校化について

(工藤教育長)

それでは、協議の①「津久見高校海洋科学学校の単独校化について」姫野高校教育課長から説明いたします。

(姫野高校教育課長)

〈説明概要〉

- ・津久見高校海洋科学学校の沿革と現状
- ・今後の方向性とスケジュール

(工藤教育長)

ご質問・ご意見のある方はお願いします。

(林職務代理者)

現状として漁業従事者や船員の不足が挙げられましたが、海洋科学学校を卒業して、すぐに漁業に携わることができるのでしょうか。農業では農業大学校がありますが、専攻科は大学校のようなのでしょうか。漁業ですと、例えば親元で修行のようなことをするのでしょうか。

(姫野高校教育課長)

専攻科卒業時点で3級海技士の資格が取得でき、内航船の船長になりますので、すぐに海運業に就くことができます。本科を卒業した時点でも、5級海技士資格の学科試験が免除されますので、卒業生のほとんどが海洋関連産業に就職しています。

自営の漁業については、一度養殖業などの企業に就職した後、家業を継ぐケースが多いと聞いています。

(高橋委員)

漁業に就くケースでは、初めは親と船に乗ることが多いようです。他にも、フェリーの船員からというケースもあるようです。

海洋科学学校は大分県の地の利を生かして、地域人材を育成する学校だと思いますので、単独校化に賛成です。ぜひ残してほしいと思います。

(松田委員)

共同運航の相手となる香川県の高校は単独校ですか。

(姫野高校教育課長)

はい、そうです。相手となる香川県立多度津高校は工業系と水産系学科を有する1学年6学級の単独校です。

(林職務代理者)

単独校化を機に、全国に誇れるような魅力のある学校にしていきたいと思います。航海士や漁師など、様々な目的を持った人が全国から臼杵に来てもらえるような学校づくりをするとよいのではないのでしょうか。

(姫野高校教育課長)

現在、年間70回ほど臼杵市を中心に行うマリンスクールや津久見市のマグロ祭りなど、地域に根ざした活動を行っています。さらに特色化していくということは、学校と一緒に考えて行きたいと思います。

水産系の高校は県に1つしかないところがほとんどですので、県内で切磋琢磨しにくいという現状がありますが、共同運航で一緒の船に乗って、互いに良いところ学び合うことができるのではないかと思います。

(首藤委員)

平成24年に分校化し、平成28年に単独校化を考えるというのは、県教育委員会の見通しの甘さを感じます。法律に本校の基準として1学年2学級があり、それが法改正により緩和されたという状況の変化があるにせよ、単独校にすることで、このようなことができるようになるのか、教育内容が充実するとか、将来こうなれるとか、そういった内容が

明確に示せば、単独校化に対する県民の方々の理解も得られるのではないかと思います。

(姫野高校教育課長)

分校化を決定した当時と現在の状況で大きく異なる点として、海洋関連産業の全国的な人材不足があると思います。船員や機関員の必要性も大きくなっています。学校の特色として、海洋関連産業を担っていく人材、自分たちがそれを支えていくという意識の高い人材を育成していきたいと考えています。

(松田委員)

分校となった当時は入学を希望する生徒も少なく、やむを得ない状況でしたが、現在は、地方創生の観点や地域の活性化など、農林水産業の発展が重要であると言われてしています。

単独校化は時代に即した発展性のある考え方であると思いますし、その時々に応じて前向きに良い方向を目指すことは好ましいことだと思います。単独校として魅力ある学校づくりに向けて、皆で知恵を絞りながら進めていければよいのではないかと思います。

(林職務代理者)

海洋大学校へ進学して外航に従事している方がいると聞きますが、今でもそういった方はいるのでしょうか。

(姫野高校教育課長)

専攻科を卒業すれば、内航船の船長になれます。そこから英語を勉強して2級海技士を取得する方もいましたが、今は外航（に従事する人）はほとんどありません。それだけ国内で人が足りていないということだと思います。

(林職務代理者)

現在、一番遠いところから来ている生徒は、どこから来ていますか。

(姫野高校教育課長)

遠くは中津、国東、日田など全県から来ていますが、寮を設けていません。

(高橋委員)

以前は、マリンスポーツを教えていたと思いますが、今でも授業で教えたりするようなことがあるのでしょうか。

(姫野高校教育課長)

部活動でカッターやヨットなどに取り組んでいます。

(工藤教育長)

それでは、今回の協議の結果も踏まえながら、今後、単独校化に向けた具体的な検討を進めてまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

(工藤教育長)

それでは、最後にその他、何かございませんか。

ないようですので、これで平成28年度第8回教育委員会会議を閉会します。

お疲れ様でした。

# 平成28年度第8回大分県教育委員会会議次第

日時 平成28年7月26日（火）

13：35～14：25

場所 教育委員室

## 1 開 会

## 2 署名委員の指名

## 3 議 題

### （1）報 告

- ①県内公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について
- ②ふるさと「しごと」フォーラムについて
- ③平成28年度高校生ものづくりコンテスト九州大会の結果について

### （2）協 議

- ①津久見高校海洋科学学校の単独校化について

### （3）その他

## 4 閉 会

# 県内公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について

(平成28年4月1日現在)

## I. 校舎等の耐震化

### 〈 県内の調査結果の概要 〉

- ・ 小中学校の構造体の耐震化率は99.3%である。
- ・ 幼稚園の構造体の耐震化率は100.0%である。
- ・ 高等学校の構造体の耐震化率は98.8%で、うち県立高等学校の耐震化は100.0%である。
- ・ 特別支援学校の構造体の耐震化率は100%である。

● 耐震性がない建築物の状況(県立学校(高等学校、特別支援学校)は全て耐震化済み)

○小中学校 8棟

設置者名	棟数	学校名・棟名			備考
大分市	3	荷揚町小学校 普通教室棟	中島小学校 普通教室棟	住吉小学校 普通教室棟	3校統合による閉校に伴い、平成29年4月1日から使用しない。
佐伯市	4	上入津小学校 普通教室棟	西浦小学校 屋内運動場	蒲江小学校 特別教室棟、屋内運動場	3校を含む統合による閉校に伴い、平成29年4月1日から使用しない。
竹田市	1	城原小学校 普通教室棟			平成27年度耐震補強事業を繰越し、平成28年9月30日完成予定。

○高等学校 5棟

設置者名	棟数	学校名・棟名		備考
別府市	5	別府商業高校		高校再編による閉校に伴い、平成29年4月1日から使用しない。
		※屋内運動場2、※管理棟、普通教室棟2 (※はIs値0.3未満の棟)		

※調査対象建物 …… 2階建て又は延べ床面積200㎡超の非木造施設

$$\text{※耐震化率} = \frac{\text{昭和57年以降建築の棟数} + \text{耐震化済の昭和56年以前建築の棟数}}{\text{昭和57年以降建築の棟数} + \text{昭和56年以前建築の棟数}} \times 100$$

○大分県の公立学校施設の状況

		H27.4.1現在	➡	H28.4.1現在	伸びの状況
耐震化率	小中学校 (全国平均)	97.5% (17位) (95.6%)		99.3%	+1.8
	幼稚園 (全国平均)	94.3% (14位) (86.7%)		100.0%	+5.7
	高等学校 (全国平均)	98.1% (12位) (93.7%)		98.8%	+0.7
	特別支援学校 (全国平均)	100.0% (1位) (98.1%)		100.0%	0

※市町村別(小中学校、幼稚園)は、別紙参照

※小中学校には県立豊府中学校、高等学校には別府市立別府商業高等学校を含む。

○大分県立学校施設の状況(上記のうち県立学校分のみ再掲)

		H27.4.1現在	➡	H28.4.1現在	伸びの状況
耐震化率	中学校	100.0%		100.0%	0
	高等学校	99.3%		100.0%	+0.7
	特別支援学校	100.0%		100.0%	0
	計	99.4%	100.0%	+0.6	



## II. 非構造部材の耐震対策

(注)非構造部材：建物の構造体以外の天井材・照明器具・窓ガラス・外装材・内装材・設備機器・家具等

### 〈 県内の調査結果の概要 〉

- ・屋内運動場等で落下防止対策が必要な吊り天井を有している施設は、小中学校では、日田市の中学校で1棟ある。
- ・また、高等学校では1棟（県立学校）あり、特別支援学校にはない。  
県立学校については、25年度から吊り天井の撤去等の対策を重点的に進めたことから再編関係を除き、26年度末で対策を完了させている。

#### ● 屋内運動場の吊り天井等の落下防止対策未実施校

##### ○小中学校 1棟

設置者名	棟数	学校名・棟名	備考
日田市	1	津江中学校 武道場	平成28年度に同校の他施設と共に改修予定。

##### ○高等学校 1棟

設置者名	棟数	学校名・棟名	備考
大分県	1	別府羽室台高等学校 コモンホール	高校再編による閉校に伴い、平成29年4月1日から使用しない。

### 1. 屋内運動場の吊り天井等の落下防止対策

※調査内容：調査対象は屋内運動場等(屋内体育館・武道場・講堂・屋内プール)のうち、高さが6メートルを超える天井または、水平投影面積が200平方メートルを超える天井を有するもの。

#### ○大分県の公立学校施設の状況

(単位：棟数)

	吊り天井を有する棟数 ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200m <sup>2</sup> を超える天井				左記のうち、特定天井を有する棟数 ※高さが6mを超える、かつ、水平投影面積が200m <sup>2</sup> を超える吊り天井				吊り天井を有していない棟数 (H27年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)				
	総点検を実施した棟数	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	総点検を実施した棟数	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	総点検を実施した棟数	照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数	うち、H27年度に吊り天井撤去で対策した棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	
小中学校	1	1	0	1	0	0	0	0	423	364	305	35	118
幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等学校	1	1	0	1	0	0	0	0	135	135	130	0	5
特別支援学校	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	20	0	0
計	2	2	0	2	0	0	0	0	578	519	455	35	123

#### ○大分県立学校施設の状況（上記のうち県立学校分のみ再掲）

(単位：棟数)

	吊り天井を有する棟数 ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200m <sup>2</sup> を超える天井				左記のうち、特定天井を有する棟数 ※高さが6mを超える、かつ、水平投影面積が200m <sup>2</sup> を超える吊り天井				吊り天井を有していない棟数 (H27年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)				
	総点検を実施した棟数	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	総点検を実施した棟数	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	総点検を実施した棟数	照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数	うち、H27年度に吊り天井撤去で対策した棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	
中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
高等学校	1	1	0	1	0	0	0	0	132	132	130	0	2
特別支援学校	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	20	0	0
計	1	1	0	1	0	0	0	0	153	153	151	0	2

※県立学校は、再編関係を除き、平成26年度で対策を完了。

別府羽室台高校1棟(H28年度末閉校)コモンホール

別府羽室台高校2棟(H28年度末閉校)武道場、体育館

## 2. 上記1以外の非構造部材の耐震点検・耐震対策

○調査内容……… 人に重大な被害を与える恐れがある箇所について、学校全体の耐震点検を実施しているかを調査したもので、点検主体は学校職員または学校設置者としている。

○大分県の公立学校施設の状況

		H27. 4. 1現在		H28. 4. 1現在	伸びの状況
耐 震 化 率	小中学校 (全国平均)	81.6% (64.5%)	➔	84.9%	+3.3
	幼稚園 (全国平均)	84.0% (60.1%)		91.2%	+7.2
	高等学校 (全国平均)	100.0% (80.4%)		100.0%	0
	特別支援学校 (全国平均)	100.0% (82.7%)		100.0%	0

(注) 1. 点検・対策実施率のうち、学校・学校設置者が「学校施設の非構造部材の耐震化がトピック」に沿って実施

2. 耐震対策実施率：対策実施校数／全学校数

## —おおいたを創るキャリア教育推進事業—

## ふるさと「しごと」フォーラム実施要項

1. 目的 普通科高校における大学等への進学希望者に、大分で働く職業人からの基調講演やシンポジウムを通して、働くことの意義や大切さを理解させるとともに、企業が求める人材について理解させる。また、県内企業での体験を通して、大分の企業の魅力や地方創生に果たす役割等を発信し、将来、大分で働くことをイメージさせる。
2. 主催 大分県教育委員会
3. 期 日 平成28年8月1日(月)
4. 会 場 ホルトホール大分(大ホール・各研修室)・県庁舎・各企業等
5. 対象者 大学等への進学希望の高校2年生・保護者・教員
6. 日 程

時 間	内 容	場 所																						
8:50～9:20	受付	大ホール前																						
9:30～9:40	開会行事	大ホール																						
9:50～10:30	基調講演 「県内企業からのメッセージ ～大分で働くことの魅力～」 〔講師〕大分県経営者協会会長 ツーリズムおおいた会長 大分交通株式会社取締役会長 幸重 綱二	大ホール																						
10:45～11:30	シンポジウム 「私が県内企業を選んだ理由について」 〔シンポジスト〕 株式会社 大分銀行 小田 智美 川澄化学工業 株式会社 小野 竜哉 株式会社 テレビ大分 田中 愛佳 柳井電機工業 株式会社 島田 誠也 〔司会〕国立大学法人 大分大学COC+推進機構 岡野 涼子	大ホール																						
11:30～12:30	昼食・休憩																							
12:30～15:30	企業魅力体験 ①企業見学 ※企業見学(バス等利用) ②企業体験 ※企業説明会<ホルトホール研修室> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>生徒希望学部</th> <th>参加企業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文学・社会学部</td> <td>報道関係、交通関係</td> </tr> <tr> <td>法学部</td> <td>法律事務所</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>銀行、デパート</td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td>企業、大分県警察(鑑識)</td> </tr> <tr> <td>農学部</td> <td>研究所</td> </tr> <tr> <td>獣医学部</td> <td>獣医師</td> </tr> <tr> <td>食物・栄養学部</td> <td>公益社団法人大分県栄養士会</td> </tr> <tr> <td>福祉・保育学部</td> <td>保育園、幼稚園、福祉施設</td> </tr> <tr> <td>情報学部</td> <td>ハイパーネットワーク社会研究所</td> </tr> <tr> <td>公務員関係</td> <td>大分県、大分県警察、教育委員会</td> </tr> </tbody> </table>	生徒希望学部	参加企業等	文学・社会学部	報道関係、交通関係	法学部	法律事務所	経済学部	銀行、デパート	理工学部	企業、大分県警察(鑑識)	農学部	研究所	獣医学部	獣医師	食物・栄養学部	公益社団法人大分県栄養士会	福祉・保育学部	保育園、幼稚園、福祉施設	情報学部	ハイパーネットワーク社会研究所	公務員関係	大分県、大分県警察、教育委員会	各企業・県庁舎・ホルトホール研修室
生徒希望学部	参加企業等																							
文学・社会学部	報道関係、交通関係																							
法学部	法律事務所																							
経済学部	銀行、デパート																							
理工学部	企業、大分県警察(鑑識)																							
農学部	研究所																							
獣医学部	獣医師																							
食物・栄養学部	公益社団法人大分県栄養士会																							
福祉・保育学部	保育園、幼稚園、福祉施設																							
情報学部	ハイパーネットワーク社会研究所																							
公務員関係	大分県、大分県警察、教育委員会																							
15:30～16:00	閉会行事	大ホール																						

# おおいたを創るキャリア教育推進事業(ふるさと「しごと」フォーラム)

## 地方創生

大学生への大分県内企業の  
就職情報を発信

大分県Uターン就職  
希望者の支援

「おおいた学生登録制度」の登録者の増加

## ふるさと「しごと」フォーラム

### 【目的】

普通高校の進学希望者を対象に、大分の魅力ある企業等の  
情報提供やインターンシップを実施することで、県内企業に興味・  
関心を持つ生徒を増やし、学生登録制度の加入促進につなげる。

【実施日】平成28年8月1日(月)

【会場】 ホルトホール大分 他

【対象】 普通高校2年生(進学希望者対象)・保護者・教員

【内容】 (1)基調講演「県内企業からのメッセージ」  
・企業の求める人材とは  
・大分で働くことの魅力について  
(2)シンポジウム「私が県内企業を選んだ理由について」  
・各企業の若手社員による体験発表  
・意見交換会  
(3)企業魅力体験(23コース)

### 企業魅力体験

- ①企業見学 ※企業見学(バス等利用)  
②企業体験 ※企業説明会<ホルトホール研修室>

生徒希望学部	参加企業等
文学・社会学部	報道関係、交通関係
法学部	法律事務所
経済学部	銀行、デパート
理工学部	企業、大分県警察(鑑識)
農学部	研究所
獣医学部	獣医師
食物・栄養学部	公益社団法人大分県栄養士会
福祉・保育学部	保育園、幼稚園、福祉施設
情報学部	ネットワーク社会研究所
公務員関係	大分県、大分県警察、教育委員会

## ふるさと「しごと」フォーラム 企業魅力体験コース一覧

コース 番号	希望学部	内容	受入企業	生徒	保護者
①	文学・社会学部	報道関係	TOS	38	1
		報道関係	大分合同新聞	4	
		交通関係	大分バス	19	
②	法学部	法律事務所	いつき法律事務所	15	
③	経済学部	銀行	大分銀行	30	2
		デパート	トキハ(ホルトホール)	29	1
		デパート	HIヒロセ(ホルトホール)	30	
④	理工学部	企業、研究所	西日本電線	25	1
		企業、研究所	柳井電機工業	40	1
		企業、研究所	九州電力	8	
		企業、研究所	大分県警(鑑識)	20	1
		企業、研究所	川澄化学(ホルトホール)	20	
		企業、研究所	フンドーキン (ホルトホール)	16	
⑤	農学部	農業法人、研究所	農林水産研究指導センター	30	2
⑥	獣医学部	獣医師	獣医師・生活環境部	19	1
⑦	食物・栄養学部	病院、ホテル	大分県栄養士会 (ホルトホール 2部屋)	47	1
				47	1
⑧	福祉・保育学部	保育園	桜ヶ丘保育所	15	
		幼稚園	舞鶴幼稚園	25	
		福祉施設	緑風苑	38	
⑨	情報学部	ハイパーネットワーク 社会研究所	視聴覚センター	20	2
⑩	公務員関係	大分県	総務部人事課	22	
		大分県警	大分県警(一般)	25	2
		大分県教育委員会	教育人事課	24	

合計 606 16

## 平成28年度 高校生ものづくりコンテスト九州大会

平成28年7月9日(土)10日(日) 鹿児島県会場

### 【電子回路組立部門】

**最優秀賞** 大分県立鶴崎工業高等学校 電気科3年 みやざき 宮崎 やすひろ 恭寛

(参考) 優秀賞 宮崎県立宮崎工業高等学校 電子情報科3年  
優良賞 鹿児島県立鹿児島工業高等学校 情報技術系3年



競技の様子



閉会式の様子

### 【化学分析部門】

**最優秀賞** 大分県立大分工業高等学校 工業化学科2年 こだま 児玉 ひかり

(参考) 優秀賞 福岡県立小倉工業高等学校 工業化学科3年  
優良賞 宮崎県立延岡工業高等学校 環境化学システム科3年



競技の様子



閉会式の様子

### 【概要】

- 各地区大会で1位の選手が全国大会に出場
- 地区大会：北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州

## 第15回 高校生ものづくりコンテスト九州大会結果一覧

平成28年7月10日

部門	順位	表彰	学校名	学科	学年	生徒氏名	備考
旋盤作業	1	最優秀賞	長崎県立島原工業高等学校	電子機械科	3年	小松 洸 貴	
	2	優秀賞	佐賀県立佐賀工業高等学校	機械科	3年	田中 優 作	
	3	優良賞	熊本県立球磨工業高等学校	機械科	3年	上田 まゆみ	
自動車整備	1	最優秀賞	長崎県立長崎工業高等学校	機械システム科	3年	本多 泰 河	
	2	優秀賞	筑紫台高等学校	自動車科	3年	松原 悠 太	
	3	優良賞	原田学園鹿児島情報高等学校	自動車工学科	3年	石橋 直 人	
電気工事	1	最優秀賞	長崎県立長崎工業高等学校	電気科	3年	川脇 大 成	
	2	優秀賞	福岡県立八女工業高等学校	電気科	3年	宮島 佑 汰	
	3	優良賞	熊本県立球磨工業高等学校	電気科	2年	園田 万 帆	
電子回路組立	1	最優秀賞	大分県立鶴崎工業高等学校	電気科	3年	宮崎 恭 寛	
	2	優秀賞	宮崎県立宮崎工業高等学校	電子情報科	3年	川崎 弘 樹	
	3	優良賞	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	情報技術系	3年	鵜狩 慧 久	
化学分析	1	最優秀賞	大分県立大分工業高等学校	工業化学科	2年	兒玉 ひかり	
	2	優秀賞	福岡県立小倉工業高等学校	工業化学科	3年	岩崎 未 来	
	3	優良賞	宮崎県立延岡工業高等学校	環境化学システム科	3年	松田 旭	
木材加工	1	最優秀賞	鹿児島県立出水工業高等学校	建築科	3年	下 陳 千 咲	
	2	優秀賞	熊本県立球磨工業高等学校	建築科	2年	村上 正 真	
	3	優良賞	長崎県立長崎工業高等学校	建築科	3年	阪本 徹	
測 量	1	最優秀賞	長崎県立鹿町工業高等学校	土木技術科	3年	江頭 龍 成	
			長崎県立鹿町工業高等学校	土木技術科	3年	近藤 亮	
			長崎県立鹿町工業高等学校	土木技術科	3年	山口 蒼 鳳	
	2	優秀賞	宮崎県立都城工業高等学校	建設システム科	3年	佐野 公 春	
			宮崎県立都城工業高等学校	建設システム科	2年	坂口 葵	
			宮崎県立都城工業高等学校	建設システム科	2年	武田 真 衣	
	3	優良賞	鹿児島県立鹿児島工業高等学校	建設技術系	2年	木佐貫 隼 人	
			鹿児島県立鹿児島工業高等学校	建設技術系	2年	北村 健 真	
			鹿児島県立鹿児島工業高等学校	建設技術系	2年	七村 空 駿	
家具・工芸	1	最優秀賞	鹿児島県立川内商工高等学校	インテリア科	2年	満尾 聡 史	
	2	優秀賞	熊本県立八代工業高等学校	インテリア科	3年	坂本 飛	
	3	優良賞	長崎県立長崎工業高等学校	インテリア科	2年	中尾 優 香	

※ 測量部門は、3人で1チーム構成

# 高校生ものづくりコンテスト 競技概要

## 1. 電子回路組立

「制御プログラム」をプログラミングすることにより目的の動作をするシステムを完成させ、プログラミング技術・組み立て技術や設計力を競う。

競技時間 2時間30分

## 2. 化学分析

試料水中に含まれているCa(カルシウム)とMg(マグネシウム)の量から、その水の硬度を求める競技。測定結果の正確さや技術度等を競う。

競技時間 2時間30分

## 3. 旋盤作業

鋼材の丸棒を旋盤で削り、製作図に描かれた機械の部品を作成し、寸法精度・仕上がり程度や完成度などを競う。

標準時間 2時間00分 打ち切り時間 2時間30分

## 4. 自動車整備

課題Ⅰ「学科」、課題Ⅱ「測定作業」、課題Ⅲ「定期点検車両取扱い作業」、課題Ⅳ「エンジン故障探求作業」について、課題Ⅰは正答数、課題Ⅱ～Ⅳは、完成度、技術度、マナー・態度が審査され、合計得点で競う。

競技時間 課題Ⅰ～Ⅳ：各25分（合計1時間）

## 5. 電気工事

電気工事士技能試験に準じた屋内配線工事を行い、器具の取り付け方・接合器具や寸法の正確さなどを競う。

競技時間 2時間30分

## 6. 木材加工

支給された角材に墨付けや加工を行い、屋根の小屋組みの一部分を製作し、作業状況・組立て状態や完成度などを競う。

作業時間 2時間30分

## 7. 測量

5角形の各辺の距離と角度の測定を行い、測定時間の早さや、規定の成果に対し計算結果をまとめることを競う。（雨天時は、内業競技のみとする）

外業：競技時間37分 内業：競技時間25分

## 8. 家具工芸

図面に示された競技課題にしたがって、支給された材料（木材）を加工し課題を製作する。作業状況・手順や仕口ごとの加工精度・完成度などを競う。

作業時間 2時間30分



## 津久見高校海洋科学学校の単独校化について

高校教育課

### 1 沿革

- ・昭和 19 年 県立臼杵農水産学校として発足、その後、数度の改称や校舎移転を経て、平成 5 年、大分県立海洋科学高等学校に校名変更
- ・平成 21 年度 海洋科学高等学校入学定員 40 名（H20 年度は 80 名）
- ・平成 23 年度 海洋科学高等学校閉校（3 月末）
- ・平成 24 年度 津久見高等学校海洋科学学校開校（分校となる）

現在に至る

### 2 現状

#### ○海洋関連産業の人材育成が急務

- ・漁業従事者や船員の不足および高齢化が深刻
- ・海技士資格取得可能な県内唯一の水産系高校
- ・平成 28 年度入学生から機関コース設置  
航海・食品コースと併せ、県の水産業・海運業を担う人材を育成
- ・香川県との共同運航（平成 31 年度からの開始に向けて準備中）

#### ○分校化にかかる基準の緩和（平成 23 年 8 月）

- ・本校として「1 学年 1 学級」も可能

参考)「公立高等学校の適正配置及び定数の標準等に関する法律」

過去の本校基準：収容定員 240 人以上（1 学年 2 学級以上）

#### ○単独の高校に相当する規模

- ・本科（5 級海技士取得）、専攻科（3 級海技士取得）を設置した学校  
で教職員数は 54 名（1 学年 5 学級規模の普通科高校と同等）
- ・実習船の運営費を含め、学校管理に係る予算は多額

（H27 年度 学校管理費：約 2,400 万円 実習船運営費：約 1 億 900 万円）

### 3 方向性

○津久見高等学校海洋科学学校の単独校化に向けた具体的検討

○臼杵市・津久見市において地域別説明会実施

{ 実施時期：8月中旬  
 { 対 象：高校 PTA・同窓会、中学校 PTA、商工会代表 等  
 { 説明内容：単独校化の検討に関すること

### 4 これからのスケジュール（予定）

8月中旬：地域別説明会（臼杵市、津久見市）

9月以降：教育委員会 単独校化議案審議

↓  
 (単独校化決定の場合)  
 ↓

12月：第4回県議会 「設置条例」改正案上程

↓

単独校化（H29.1月学校設置・4月開校）予定

参考) 海洋科学学校の単独校化に係る県教委への要望等の状況

H 27 5月：臼杵市人材育成連携会議および臼杵市議会より要望

H 28 2月：臼杵市人材育成連携会議より要望

3月：臼杵市議会で単独校化を求める意見書が採択

(臼杵市議会より県教委へ意見書提出 3月24日付)

6月：臼杵市人材育成連携会議および臼杵市議会より要望

※臼杵市人材育成連携会議（会長：臼杵市長）